

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

職員・教員・学生が協力し、大学や地域に根ざしたギネス記録にチャレンジする。

(理由・背景)

・自校への愛がない → ナンバーワン・オンリーワンな記録を作ることによって、自校への愛着を持ってもらう。
・教員や学生との交流・コミュニケーションが少ない → ギネス記録にチャレンジする際はもちろん、その準備の際にも交流ができ、互いのことを知ることができる。
・ルーティンワークに埋没している → チャレンジを行える風土・雰囲気形成することによって閉塞感を打破する。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

事務職員だけでなく、さまざまな大学構成員とディスカッションを行う楽しさ、そして重要さを感じました。自分が参加したグループでは教員の方がユニークな視点から意見を言い、それによってディスカッションに奥行きができました。またその他のグループの発表を聞いていても年次が上の方がいることによって、普段は気付かない視点からのディスカッションを行うことができると思いました。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

宮林様の講演では統計的思考や経済学の知識についてその重要性和、それを大学職員として活かす方法をお聞きでき、とても参考になりました。
藤原様の講演では内容はもちろん、大学をよくしたいというパッションに大きな刺激を受けました。
講演者のお二方には深くお礼を申し上げます。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今回は「学びのひろば」にお誘いいただきありがとうございました。今回はグループディスカッションの時間が少なかったですがとても参考になったので、いろいろなことを討議できる場として発展することを期待しています。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

- (1) 鳥の糞大清掃大会（大学に関わる方全て対象）
(2) 国立大学対抗運動会（職員向け）

（理由・背景）

- (1) 敷地が広く、緑の多い横浜国大の特徴を活かし、より多くの人に訪れてもらえるよう、また、学生・教職員がリフレッシュしやすい環境整備を進めるため。
(2) 運動する機会が少なくなった職員向けに、参加率が高そうなスポーツイベントが必要と考えたため。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

私のグループでは、すぐ始められそうなものから、実現がすごく難しそうなものまで、さまざまな案が出ました。私は聞いている時間の方が長かったです、退屈だったということはなく、同じグループのベテランの方々のやりとりがとても面白かったので、聞き入ってしまいました。出てきた案の中で、一番インパクトがあったものは、「今ある規則を、一度すべて無しにする」というものです。長年（横浜）国大で働いてこられた先輩ならではの案だと感じました。楽しく、勉強させていただきました。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

お忙しい中ご講演いただき、ありがとうございました。
大学職員の業務の幅は広く、知らない仕事の方が圧倒的に多いため、この度ご講演いただいたことでさらに大学を知ることができました。また、身につけたものを「継続」する大切さや、挑戦してうまくいかなかった場合にも、課題を見つけ、再度トライする粘り強さを学びました。これからの大学職員生活に、必ず、活かそうと思います。
本日はまことに、ありがとうございました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

ディスカッションにおいて、意見の出し合いだけでもとても楽しいのですが、「意見まとめタイム（仮）」を設けて、最後に結論（に近いもの）を発表できるように、タイムスケジュールを組んでみてもよいかと思いました。話し合いが窮屈になるかと思いますが、毎回ではなく、たまに実施することで、変化をつけられるかもしれないと感じました。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

現在の大学国内ランキング（偏差値）を是非修正してみたいが、一橋大学と東京工業大学に勝るような社会的評価を得られる材料は見当たらない。
卒業生の同窓会参加日本一の大学なら挑戦できそうか？

(理由・背景)

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

1 グループに半数もの多くの他大学職員がいるディスカッションはユニークであるが、開催時間が2時間は非常にもったいない。半日ぐらいないと数多くの参加者から発言を聞けないので残念でした。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

興味のある講演でした。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

国立大学の職員同士もいいけど、議論の方向性が似たような雰囲気を感じます。首都大学東京のような別設置形態の大学も視点や議論が違って良いし、横浜・神奈川には数多くの公私立大学があるので、そのような地元大学との連携も選択肢として一歩進めたほうがいい。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

大学名物メニューを考案し学祭に出店したい。
講義棟のスクリーンなどで映画上映会をしたい。その後映画について話し合いたい。

(理由・背景)

学祭に参加してまたイベントを企画して有意義に楽しみたいと思ったので。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

色々な角度からアイデアが出されて興味深かったです。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

難しいことをたくさん考えていて偉いと思いました。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

参加者の数を求めるのかそれとも内容の質を求めるのか、そのバランスでやるべきことは変わってくると思いますので、再考してから具体的な来年度企画立案を進めるのが良いような気がします。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

国際性を真に標榜するためにも、日本語を理解できない学生が安心して学業に専念できるように、学生向けの情報を全て英語（日英併記）化したい。

(理由・背景)

重要な情報でも日本語のみでしか案内されないなど、日本語を理解できない留学生（特に大学院生）に対してのサービスが非常に乏しく、現状では学生担当係が個別に対応している。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

各自のアイデアを大きく3つのテーマにグループ分けしてから、教員・職員の区別に影響せず、実現の可能性が探りやすいものに絞ってディスカッションを進めました。
テーマに沿って課題の回答を確実にまとめるというよりも、テーマをきっかけに、各大学の特色について情報交換をしながら、その結果として回答のヒントを見つけました。
様々な視点からの意見を伺うことができ、大変勉強になりました。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

講演者のお二人とも行動力や思考力に非常に長けていて、日々の仕事に埋もれている自分が恥ずかしくなるほどでした。大学や事務組織を発展させるための、また理想を現実にするための、確かな熱意を感じました。貴重なお話をありがとうございました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

より多くの教職員に参加を促す仕組みが必要かと思います。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

職員の語学力向上

- ・若手職員を中心に若手職員の英語 or 中国語の向上を目的に、現地の語学学校へ1年ほど留学させる。
- ・TOEICで一定の点数を取らなければボーナス減額 or 点数の上昇幅に応じたボーナス支給など、大学と職員が一体となり本気で「世界トップ」を目標にできる大学を内部から作り上げる。

(理由・背景)

本学はグローバル化を謳い、海外からの優秀な学生・教員の確保に努めているものの、彼らを支える職員のグローバル化は全く進んでいない。

語学研修や自主的な勉強に対する助成金はあるが、強制的に参加するもの以外は参加者が集まらなかったり、ほとんど使われていないのが現状である。

世界の名だたる大学と本気で張り合う気があるのなら、まずは内部の人間を海外の人間と対等に会話出来るレベルに育成する必要があるのではないかと。という理由から「職員の語学力向上」を挙げました。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

多くの職員が職員同士の絆を深めたり、タテやヨコとの繋がりを意識した「勉強会」を挑戦したいこととして挙げていた。コクダイパンでも感じたことだが、どの大学でも職員同士のネットワークやコミュニケーションの場が不足し、いかに職員が鬱々たるものを抱えているかを感じた。ただ、それは様々な考えや志を持った職員が多くいるということであり、それ自体は単純に嬉しく感じた。

また他の班の発表で「職員でギネスに挑戦」という面白い発表があったが、すごく良い！と思います。それが特に大学の研究室や教員、学生を巻き込んでいけるような挑戦であれば、なお良い！と思います。本学でもトライしてみようかな… (ペットボトルロケット一斉発射記録とか！)

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

学びのひろばが衰退気味というお話でしたが、是非負けずに頑張っていてほしいです。また発案がありました「大人のための学びのひろば」も是非とも実現して下さい！内輪だけだと曇りがちですが、他大学の職員とお話することで全く違う視線を得ることができると感じます。今後は是非民間企業の方も巻き込んで、よりよいディスカッションが出来たら、と思います。本学が目指すSDのスタイルが横国のSDです。今後ともよろしくお願い致します。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

- ・大学院進学 ・人材開発メソッド（コーチングなど）の習得
- ・会計システムの電子化（現状は紙運用です）
- ・日本中の大学職員とソーシャルネットワークで繋がる！

（理由・背景）

上の方が個人的なこと、下に行くに従ってスケールの大きなこと、という風に考えました。世の中にはすばらしい知識・能力・経験が存在しているので、それをいかに活用できるようになるか、活用できるようになったら他の大学に分け与えるか、を考えました。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

当たり前ですが、人によって考えることが全く違うので、自分では考えつかないような意見を多数聞いたのは収穫でした。また自分の考えを人に説明することによって、考えの至らなかった部分や自分でもよく分かっていない部分などが明らかになり、終わった後は自分の頭の中がだいぶ整理できたように思います。目標が明確になれば、あとはやるだけ、です。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

お二人とも自大学のことだけでなく、もっと広い視野で仕事を見つめられていたので、とても新鮮でした。自分も負けないように、そしていずれ自分も同じような目線で一緒に仕事できるように、がんばっていきたいと思います。ありがとうございました。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

私は他大学から参加したのですが、お招きいただき本当にありがとうございました。もし今後このような機会がありましたらお誘いください。駆けつけます。逆に本学で何かを行う際には、ぜひ本学にもお越しいただければと思います。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

教員の研究内容を把握するための勉強会を開きたい。

そして、どのような研究をする教員がいるのか職員同士で把握し合い、学内・学外向けに紹介したり、学内の研究プロジェクトを提案したりできるくらいの知識を身につけたい。

(理由・背景)

研究環境の向上のためには、省庁などから競争的資金を獲得することが必要。しかし、そのような研究課題は全学的な取り組みが求められることが多い。職員が幅広く教員の研究を理解していれば、全学的にどのような取り組みが可能か考え、提案できると考えるため。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

国立大学は国の機関の方だけを向いていけばよく、地域貢献ということは二の次なのだろうという認識があったが、ディスカッションの中では地域を向いた思考が見られ、イメージを変えられる良い機会となった。

また、教員の参加により、職員だけの考えに偏ることがなく、より教職一体となった考え方でディスカッションを進めていけたのが有意義だと感じた。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

宮林係長・・・挑戦、ということであるが、既に行動を実施しており、途中経過をうかがうことができたのは非常にリアリティがあり良かった。継続して話をうかがっていきたい。

藤原さん・・・たくさんのアイデアがあり驚いた。そのようなアイデアにつながる広い視野を持つにはどうすれば良いのか聞いてみたかった。何か実際に実行なせるものができたらまた事例としてうかがいたい。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

是非また参加させてください。

次はもっとディスカッションの時間を長く取り、たくさんの方と話せればと思います。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

1品でもよいので、大学に定期的に国宝級の美術品を展示する。

(理由・背景)

天才と呼ばれた数学者、岡潔が「数学ができるようになるためには、まずその人間ができなければならない」として、数学科の学生に一流の美術に触れるよう指導したように、論理を扱う研究機関であるからこそ、身近に一流の美を感じられる場が重要であると考えます。

教職員や学生だけでなく、地域の人との交流のきっかけや、留学生に日本の美を味わってもらう場にもなると思います。他大学と一緒にレンタルすれば、費用も抑えられます。

1品だけの展示だとしても、味わいつくせないほど高貴なものならば、何度足を運んでも楽しめるはずです。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

- ・国際化活性へのヒントを得るために、他大学への調査や交流を行う
 - ・英会話の活性化
 - ・基本的な情報の共有化
 - ・フェイスブックの活用
- 本当に多くの名案が提案され、とても刺激的でした。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

・宮林さん

ディスカッションでは、宮林さんのご講演内容（その組織をよくするには、その組織を含む規模でよくしていくことが大切であること）が大いに反映されていました。

・藤原さん

「3. 大学について思ったこと」のスライドとその次のスライド内の、「大学」という言葉は全て、他のどんな言葉（スキー、ダンス、部活など）にも置き換えられると思います。つまり、藤原さんは、「生きるとは何か？」ということを問うていたのではないのでしょうか。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

- ・今回出た意見の具現化、チャレンジ
- ・教員と職員との交流の活性化（顔のわかる関係へ）

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ⑤ あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

大学キャンパスでギネス記録に緒戦する。

- ・“喜び・嬉しさ”をテーマに、花を植えて世界一大きな花絵を作る。

(理由・背景)

大学教職員・学生さらには地域住民の垣根を越えて、1つのことに取り組み、これを達成し、学外に発信する。大学を活性化させるとともに、大学の知名度・ブランド力の向上を図る。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

- ・大学に対する愛校心の欠如の克服
- ・教員・職員・学生の垣根を超えたコミュニケーション不足の解消
- ・ルーチン・ワークに流される日常の打破
- ・ギネスに挑戦することで以上3つのことが、解決されるのでは？

(テーマ) 世界一大きなシューマイを作る。

世界一大きなからくり (ピタゴラ・スイッチ) を作る。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

- ・首都大学東京

若い勢いを感じました。学びの広場を学生にまで広げているのが素晴らしいと感じました。

- ・千葉大学

気負わない発表で良かったと思います。本学でも検討すべきヒントが沢山ありました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

- ・関東近隣の大学との交流を是非に継続・深化頂きたいと考えます。
- ・交流会は、学内でも良いように感じました。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

大学職員が、インターンシップとして、博士課程に入学する。希望者は学位を取ってもいいが、どちらかという、研究室での生活を体験することが目的。

(理由・背景)

教職協働を進める上で、職員も研究者の考え方、物の見方、コミュニケーションの仕方を知ることが大切だと考えたため。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

いろいろなアイデアが出てきましたが、「視野を広げたい」とか「ワクワクするような仕事をしたい」という思いは、どの教職員にも共通しているように思いました。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

お二人とも、お話がとても刺激を受ける内容でした。

宮林さんの積極性、藤原さんの大学を愛する気持ち、両方とも、職員に大切なことだと感じました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今回、首都大学東京の方のお話を聞いて、国立大学と事情が異なる部分が多く、とても興味深かったので、今度は私立大学の方の話も聞いてみたいなと思いました。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

自分自身の語学力を高め、多数の留学生をリクルートしたり、受入環境を整えることで、大学に留学生を増やし、留学生と日本人学生間や留学生と教職員間が交流する機会を増やしたい。

(理由・背景)

現在の掌握業務において、協定校への学生の派遣・受入をのしくみ作りの支援を担当しており、本学の留学生や協定校の数、受け入れ環境、学生の英語力等を知る機会がありました。

自分自身もともと語学や国際化に興味があり、留学生との交流を増やしたいと考えていたため、本学の国際化の課題も踏まえ、以上のような目標を設定するに至りました。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

- ・ Facebook に挑戦したい。
- ・ 「美しいもの」を大学に取り入れたい。
- ・ 業務などの情報共有を図りたい。 等

キャリアや部局など、取り巻く環境が異なる、自分とは違う視点の方々と GD することができ、大変勉強になりました。普段は他大の、幅広い年齢の職員の方と GD する機会があまりないので、今後も是非参加したいと思いました。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

・ 宮林さん

勉強会についてのお話が大変興味深く、参考になりました。次の世代に引き継ぐため、勉強会の代表者を2年でやめる、という発想はなかなかないと思いますので、考えさせられました。

・ 藤原さん

自己紹介や今後挑戦したいことで是非参考にしたいところが多数ありました。特にアンテナショップのご提案については、本学でも地域連携として取り組んでいったら良いのではないかと、思うところがありました。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

- ・ 大学職員として、理想の自分と現在の自分に GAP はあるか。その GAP を埋めるために、努力していることはあるか。(GD テーマとして)
- ・ 今後も、他大学を積極的に学びのひろばにお誘いいただけますと幸いです。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

個人的な目標ですが、働きながら大学院で研究をしたいです。

(理由・背景)

研究が途中で終わっているので続けたいということもさることながら、自ら学ぶことで、事務職員としてだけでなく、学生や研究者の目線での大学を感じるとともに、専門分野を持った人材になりたいと思うからです。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

実現可能かどうかは問わずに、アイデアを出せたことはよかったです。しかしながら、革新的なものより、業務と関連した身近な意見が多く、斬新なアイデアが出なかったことが少し残念でした。同時に、自らも柔軟な考えができなくなっていることに気付いたので正していきたいです。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

お二人とも経験が豊富でさまざまな視点をもってお仕事されていると思いました。これからもそのモチベーションを保って日本の大学職員をリードしてください。

- ③ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今年は開催回数が少なかったと思うので、年4回（3か月に一回くらい）くらい開催するとよいのではないかと思います。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

兼務・兼任をもっと普通なことにして、通常業務とは別に、たとえば次のようなことを部局横断型のプロジェクトとして日常的にやりたい（そうでなくてもやれることからやる気ではありますが。): 教職員用トイレに「YNU クレド」を貼る、大学祭に出る、Facebook や Twitter を利用して学生にもっと大学の声・情報を届ける、就職希望者向けメッセージ冊子を作成する、英文ウェブサイトにもっと学生の声を入れる、千葉大イングリッシュハウス・早稲田大国際コミュニティセンターのような活動を本学でも行う、学内で講義室の設備を使って映画鑑賞できるようにする。

(理由・背景)

ルーチン業務については縦割りで対応するのがベストかもしれないが、縦割りでないほうがうまくいく仕事、縦割りではできない仕事も多いと思う。ルーチン業務は縦割りできちんとしながらも、〇〇部、〇〇課、〇〇係という縛りからもっと自由になって、ダイナミックに、学生のため、大学のために動きたい。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

短い時間で、すごい量のアイデアが各自から出されたことに驚くとともにうれしくなった。アイデアで終わらせるのは勿体ないので、それらのうちのいくつかを実際に取り上げ、実現したいと思った。もっとみんなで「ワクワク」しながら「楽しい」仕事(=楽な仕事ではない!)がしたいと思った。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

宮林さんの講演はこれまでやってきたことからこれからやっていきたいことまでを体系的にまとめていてすごくわかりやすかったです。プレゼンの仕方も含めて大変勉強になりました。藤原さんの講演は、いつも熱い思いを持って仕事に取り組んでいることが伝わってきました。「大学は人を幸せにするもの」という言葉がすごく心に残りました。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

すごく良い活動だと思うので、継続する方向で、今後の方向性を考えていきたい。学外の方にもっと気軽に来ていただけるような場にするか、学内の若手だけでなく係長級・副課長級の方にも来ていただけるような場にしたい。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

勉強会などの一参加者ではなく主催する人物になる。

(理由・背景)

① 業務や大学運営に関わる知識を身に着きたい→② 自分だけのためというのは勿体ないな
→③ そういえば若手で集まる機会も欲しい→④ 逆に他の人が持っている知識も身に着きたい
→⑤ 自分が率先して勉強会など主催できるようになれば、周りの人も続いてきてくれるかも

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

自身と同じく若手の方々の内に秘めた熱い思いを知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。特に今後の仕事をする上でのモチベーションや原動力につながっていると思います。

ただ少しお時間が短かったこと等々により発表だけで「ディスカッション」をするまでには至ることができなかつたことが残念であり、私自身力不足を感じました。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

諸事情により拝聴することが叶わなかつたこと、大変残念に思っております。

ぜひまた何かの機会に御講演をされることがございましたら、お伺いさせていただきたいです。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

またお呼びいただける機会があればそれだけで満足ですが、強いてあげるとすれば次は座学形式だけでなく、体を動かすものも（例えばボランティア活動など）良いのではないのでしょうか。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">・発表資料のとおり (それ以外に)・英会話
(理由・背景) <ul style="list-style-type: none">・発表資料のとおり (それ以外に)・留学生と自分の言葉でコミュニケーションをとってみたい

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">・先生の視点と職員の視点の違いが興味深く、その共通項を見出していきやりとりがとても楽しかった。・もう少し時間があればな、と。(これはわがままですね)

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

<ul style="list-style-type: none">・藤原さんのお話は「大学への想い」がやさしく伝わり、心がほんわかしました。 「あれもこれもやりたい」はいいですね。藤原さんの視点でグルーピングされていたのが興味深かったです。 私の話が現実的なことに終始していたので、この組み合わせはよかったのではないかと自分で勝手に分析しておりました。・千葉大学の資料はとても参考になりました (本学は広報誌をいまだに作っていないので)。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">・継続していくことのむずかしさは、私も実感しているところです。お互い、長く続けられるようにいろいろな工夫を試しながら頑張りましょう。
--

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

法人として業務運営にある程度の統一感を持たせることで効率化を達成したい。

(理由・背景)

本学は、元々全く毛並みの異なる3つの大学がひとつになり首都大学東京の名を冠している。まもなく、開学から10年が経過しようとしているが、毛並みの異なる面ばかりが目につき、より効率的な業務遂行を妨げている一面が感じられるので、上記に挙げた。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

大学職員としてのキャリアデザインの重要性から教職員・学生共同でギネスへの挑戦まで様々な意見が飛び交い、非常に発想を柔軟に持つことの重要性に気付かされた。

参加していた班では、利害関係を超えて教職員・学生が共同作業を行うためにギネスへ挑戦という意見に収斂した。大学の違いはあれど、構成員の間に良好なコミュニケーションシステムを築くことはどの大学においても課題なのだと考えさせられた。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

(宮林係長) → 同じ法人とはいえ同じ職場ではないので、非常に新鮮だった。自らももう一度担当業務を見直そうというきっかけになった。ありがとうございました。

(藤原さん) → 「大学はhappyなもの」という言葉は、一見漠としているが非常に的を得ていると思った。様々な点で参考になる事例を挙げてくださいましたが、「ダメ」とおっしゃっていた広報誌が一番参考になった。ありがとうございました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

ある程度SDの場として認知されだすと、「知識もないし、知らない人ばかりだし…」ということで入職から間もない人間は尻込みしてしまいがちな傾向にあると思う。本当は(自身も含め)そのような人たちこそ来るべき場所であるというに、非常にもったいないと思う。このような葛藤を克服する術を教えて欲しい。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

現在の業務に直接関係しないことでも、自己研鑽につながることは積極的に挑戦していきたいです。まだまだ他部局の教職員に知らない人も多く、さらには他大学の教職員の知り合いがほとんどいないので、今後は積極的に学びのひろば等にも参加して人脈を広げていきたいです。そして、そこで得た知識や考え方を自分の職務に還元させ、自分が理想とする働き方を実践していきたいです。

(理由・背景)

今まで担当していた業務がとても多忙であったため、多くの時間をこの業務に費やしてきました。それはそれで充実していましたが、先週末にこの業務がひと段落したこともあり、これからは自己研鑽につながるような時間の使い方をしたいと考えました。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

私は、時間・人員・予算等の制約を全く気にせず、広報活動に力を入れる取組みを考えました。これは、わくわくするというところに重点を置いて考えました。ほかのメンバーは、現在の問題点を掘り下げて、改善できるシステム構築について発言されていました。また、国際化された大学の一助となるように、通訳ブースのある会議室の設置を提案していました。これらはとても現実的なものであると感じました。どのアイデアについても、現在の不足を補うという視点で考えると根本は同じだと思うので、現実化はなかなか難しいとしても、そのような理想に少しでも近づけるように、工夫していく努力は続けたいと感じました。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

本日は、お忙しい中、ご来学いただきましてどうもありがとうございました。宮林さんと藤原さんのお話しはとても興味深く、刺激を受けるものでした。宮林さんの自己研鑽を続ける姿勢には感心させられましたし、藤原さんの、職員も学内授業を受講できたり、サバティカル制度があったらいいというお話は、とても新鮮でした。私も強く同感します。お二人の取り組みや考え方に講演を通して接することができて、有意義な時間を過ごせました。どうもありがとうございました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今回のテーマは、ディスカッションするにもとても面白そうで、ぜひ参加してみたいと思わせるテーマでした。今後も、一般教職員を引き付ける学びのひろばであってほしいと期待しています。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

国内・国外問わず、多くの他大学の視察を行いたい。そしてそこで得た知識を、横浜国大にフィードバックしたい。

(理由・背景)

職員としてルーティン中心の業務をこなす中で、大局的な知識が足りないと感じているため。他大学の視察により、各大学の長所や短所などの例を多く学び、自身の業務の指針としたい。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

目標として挙げられたものは、職員同士の交流を深めること、英語力の向上などだった。特に、所属する大学の評価を国際的に向上させるためには、職員の英語力の強化は前提として不可欠なものである。そのため、職員の海外への研修ももっと積極的に取り入れるべきである等の意見が出た。

語学の習得は、国際化の進む大学で働くからには、職員にとって必要不可欠なものである。職員個人での努力も重要であると感じた。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

自身の実績、過去に大きな自信を持っている点に感銘を受けました。その自信に裏打ちされて将来のビジョンを明確に描いているので、説得力を感じました。私も、ぜひお話を参考にさせていただき、自信を持てる仕事を積み上げるとともに、これからのビジョンを明確にしていきます。

ありがとうございました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今回のように、他大学での取り組みについて学べる場がさらにあればいいと感じた。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ① あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

「教員」、「学生」、「職員」といった立場を超えた飲み会の開催

(理由・背景)

普段私はどうしても立場に縛られて言葉を発し、知らず知らずのうちに立場に応じた立ち振る舞いしかできなくなっている。おそらくそれは教員も学生もそうではないか。しかしそれでは面白くない。立場ではなく、一人の人間として周りにいる人たちと話す場が欲しい。普段は聞けないような声をきくことができれば、もしかしたら業務にも良い影響があるかもしれない。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

参加者の一人が発した「ギネスに挑戦したい」という一言が印象的だった。ギネス自体には何の価値もないかもしれないが、全員が同じ目標を共有して挑戦しているところを想像したらワクワクした。それと同時に、なぜ普段の仕事ではそのようなワクワク感を覚える機会が少ないのだろうかと考えてしまった。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

内容もちろん面白かったのですが、それ以上に楽しそうに話されている様子が、普段の仕事ぶりまで伝わってくるようで印象的でした。

どうもありがとうございました。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今回のように自由度の高いテーマも面白いが、もっと具体的で実際に誰かが困っているようなテーマについて話すこともしてみたい。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

1. 資料館と組んで展示を企画し、さらに、資料館所蔵の資料の目録をとりたいです。
2. 諸 ID 統合（学内全体）をし、リポジトリと研究者 DB を連携させ、それと並行して、リポジトリに貴重書のデータを加えたいです。

（理由・背景）

1. 元々学外者の利用は資料館の方が多いため、資料館と組んで展示を企画することで、学外者による図書館の利用を増やしたいと思うため。また、資料館所蔵の図書・図版などの資料の目録をとることで、展示品の候補リスト作成、web 上での資料情報提供などに役立てられると考えたため。
2. 本学リポジトリの内容を拡充し、利便性を高めたいと思うため。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

全員の「挑戦したいこと」を発表した後、「わくわくすること」（＝ベストプラクティスを探すための全国行脚、応援団ツアー）について議論を深めました。

それぞれ所属部署がまったく異なるため、関心のある分野が異なっており、それぞれの考えた内容があまり重複していなかったのが、とても興味深かったです。挙がっていたうちのいくつかは、必要だと思うけれども余裕がなくて…というもので、普段はあまり考えていなかったが、実現できる余裕を作るために何をすればよいのだろう、と考えるきっかけになりました。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

興味深いお話をお聞かせくださり、ありがとうございました。

他の部署の方とお話しする機会もあまりないので、お二人のお話はとても刺激になりました。

また、お話を伺っていて、大学職員としてやっていくには（他の職業にも共通して言えることだと思うのですが）やはり、学び続ける向上心が必要なのだなと強く感じました。

今は難しいですが、自分も他部署の人を巻き込んで、何か大学を PR したり、内部の人たちが役に立てられたり楽しめたりするようなことをできたらと思います。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

今回は参加させていただきまして、ありがとうございました。

懇親会のときに、講義形式のみのときの方が参加者は多い、というお話をちらっと伺ったのですが、インプットオンリーよりも、何らかのアウトプットまでまとまった形式になっている方が、後々よいのでは、と思っています。なので、そういう形式でも参加者が増えるよう、陰ながら応援しています。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

*社会に大学の理解者・支援者を増やすための取組。（地域、社会の応援団体をつくる、イベントをするなど）

（理由・背景）

大学の存在意義や社会の役に立っていることを理解して応援していただける一般の人を増やすことが重要と思いました。大学自らから社会の中での存在意義を認識し、社会に発信することがまだまだ足りないと思います。

② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

学祭への職員による出店など、楽しく、大学や学生のためになる提案があったと思います。みなさんの「こういうものがあつたらいいな」という思いに共感できました。それを共有することに意味があると思いました。

③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

宮林さんが沢山の実績を上げておられることに驚くとともに参考になる事例でした。地に足がついたお考えから実践されている藤原さんのお話しにも共感することが多かったです。
みなさんと懇親会等でもお話が伺えて、楽しく有意義でした。

④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

- ・テーマの趣旨説明を、提案者の方ももう少し詳しく語っていただくと、もっとよかったのかなと思います。個人的な思いを語っていただいたほうが、より議論の温度が上がると思います。
- ・テーマとしては、今回はどちらかという若手向けかとは思いますが、そこにいろんな職種・層の方が入っていることが素晴らしいと思いますので、続けていただきたいです。
- ・懇親会では、係長クラスは忙しいのでなかなか具体的な仕事に結びつかないと参加しづらいという話も伺いましたが、若手に助言をする立場で入って下さいとお願いすれば、話はまた違うかと思いました。実際は参加してみたら、係長自身が気づくこと、得ることが多いと思います。
- ・楽しく貴重な機会をいただきました。ありがとうございました。実際の運営にあたる皆さんは煩雑で大変なことも多いと思いますが、楽しんでいらっしゃる様子がかえりました。今後も健康に気をつけられ、無理せず様々な取組を続けて行かれることを願います。

平成25年度第3回学びのひろば アンケート

- ①あなたが大学教職員として挑戦したいことをご記入ください。

管理業務の仕組み改善。各種事務処理等の効率化に向けて現状調査し結果を踏まえて仕組みの改善を図りたい。

(理由・背景)

各種の情報集約と活用について改善が進めば管理される側の教職員としては心的ストレス軽減や時間の余裕ができると考えました。各課係の管理担当者におかれましても同様の効果があると思います。

- ② グループディスカッションで話し合った内容や、感じたことをご記入ください。

グループメンバーの各種アイデアは立場や視点が違っても情報の効果的な活用について共通であったと思います。アイデアを実現させるために予算確保等々の必要なことについては議論の前に時間切れになってしまいました。進行担当として力がたりず申し訳ありませんでした。実現するためのプランのひな形作成レベルまでたどり着けたら学びの効果がさらに高くなったと思われまます。

- ③ 本日のゲスト講演者へのメッセージをお願いします。

ありがとうございました。いずれのご講演でも大学構成員の専門性を大学事業や運営に生かしたいという部分があったように感じました。進学や論文など素養向上についても見据えておられ、多くの同業者・後輩等にとって励みになりますし、大学の運営に対して事務系職員の発言力・説得力の強化につながると思います。今後のご活躍をお祈りいたします。

- ④ 来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

来年度の運営スタッフの皆様が希望される企画を実現していただければよいと思います。